



優 秀 賞

設計部門



地域の雨水対策と古墳公園整備との 一体化にチャレンジ～田主丸大塚古墳整備～

株式会社アーバンデザインコンサルタント
棚町修一・堤八恵子・大杉哲哉・小峯裕・
扇輝久
プランニング横田 横田望
ブルドジオテクノ(株) 花田俊弘

田主丸大塚古墳は久留米市東部の東西に連なる耳納山地の北麓の扇状地に位置しており、眼下に筑後川中流域の平野部を一望することができます。計画地周辺には古墳群や寺社などの文化財や果樹園が多く、歴史探訪や観光農園として賑わいを見せています。

本古墳は本来、前方後円墳ですが開墾等により前方部がなくなり、周溝などの関連遺構も埋藏等によりその姿を見ることができなくなっていました。さらに、扇状地の入口に位置するため、周辺からの雨水が集中し、雨水被害が多発していました。

作品概要

作品名—— 地域の雨水対策と古墳公園整備との一体化にチャレンジ～田主丸大塚古墳整備実施設計～
所在地—— 福岡県久留米市田主丸町石垣2-1
発注—— 久留米市役所
設計—— 株式会社アーバンデザインコンサルタント
設計協力—— プランニング横田 横田 望
ブルドジオテクノ(株) 花田 俊弘
監理—— 久留米市役所
設計期間—— 基本計画 平成23年10月～平成24年3月
竣工時期 平成27年3月
実施設計 平成24年10月～平成25年3月
施工期間—— 平成27年3月竣工
規模—— 12,500 m²
主要施設—— 前方後円墳、周溝、造り出し、解説板・案内板、ベンチ、遺構展示施設

作品評

本作品は、前方後円墳とその関連遺構の再現を図りつつ、計画地の下流側への排水負荷軽減のために、計画地内に雨水貯留ができる施設を設けたものである。文化財関係者はもとより、下水道や公園整備、地元住民等の多くの関係者との調整を行った。
遊水池を分散させつつ、各種の排水施設を史跡公園としての景観に調和させ、確かな効果をもたらしたことは、地域防災に貢献しているとともに、クライアントからの難しい要請に対応した好例と云える。現況や課題を丁寧に調査・分析し、要請に対して技術的に対応している。雨水処理という基礎的技術と、遊水池を広場として利用したり、古墳の周溝を排水施設として機能させるなど、前方後円墳の再現と公園としての利用性や景観性にも配慮して、工夫にあふれている。整備された古墳公園は遺構展示等も十分に行われ、公園整備としても良好な事例であると認められ、優秀賞となった。

設計部門



整備前



整備前



前方後円墳の再現と古墳公園整備



雨水貯留施設、園路、周溝の整備



くつろぎ広場



後円部から筑後平野の眺望



排水機能を担う再現された周溝

本設計では、①古墳を構成する前方後円墳、周溝、造り出し(祭祀の場)の再現、解説サイン等を整備し学校教育や生涯教育等に活用できる歴史学習の場を創出すること、②周辺から集まる雨水を周溝や一時貯留施設を活用し、ゆっくりと下流側に流すことで下流側への雨水集中による被害の減少を図ること、③古墳を活用したくつろぎの場、シークエンス景観を楽しめる空間を創出し、地域活動や観光振興の拠点となる古墳公園とすることを目標としました。

この整備により、地域住民はじめ歴史愛好家や小中学校の来

訪が増加し、歴史学習や生涯学習の場として繰り返し利用されるようになってきました。

また、最近多発している集中豪雨においても、整備地内の雨水被害は発生しておらず、近隣からは雨水被害が減少していると報告を受けています。

さらに、古墳公園が整備されたことでウォーキングや憩いの場として利用が多くなり、観光農園や地域イベントとの連携も増え、地域活動や観光拠点として活用されるようになってきました。